

③職務級別平均給料月額（一般会計）

職員の給料月額は、職務の複雑・困難・責任の度合いに応じて級別に分類され、給料表によって定められています。

(令和7年4月1日現在)

職務	給料表の適用級	職員数(人)	(構成比)	平均年齢	平均給料月額(円)
主事・技師	1級	116	(10.4%)	22歳10月	218,122
主事(高度)・技師(高度)	2級	245	(22.0%)	30歳10月	260,951
係長・主査・主任	3級	328	(29.4%)	39歳3月	314,525
係長(困難)・専任	4級	209	(18.8%)	51歳4月	371,343
課長補佐・副主幹	4級	83	(7.5%)	48歳9月	377,468
課長・主幹	5級	88	(7.9%)	51歳2月	392,270
次長	6級	30	(2.7%)	53歳11月	412,770
部長	7級	15	(1.3%)	55歳8月	436,233
計	—	1,114	—	40歳3月	318,480

※管理職は課長補佐職以上
※再任用職員、任期付職員を除く

④ラスパイレス指数（給与水準）

ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合における地方自治体職員の給与水準を示したものです。本市は、令和6年4月現在98.1であり、令和5年度から0.1ポイント減となっています。下表は全国、道内の市との比較です。

(各年4月1日現在)

区分	令和4年	令和5年	令和6年
苫小牧市	98.3	98.2	98.1
道内10万都市平均	98.1	98.0	98.0
全国地方公共団体	98.9	98.8	98.8

⑤特別職の給料・報酬

特別職の給料・報酬は市議会の審議を経て「苫小牧市特別職の職員の給与に関する条例」で定められています。

(令和7年4月1日現在)

区分		苫小牧市 月額(円)	道内10万都市平均 月額(円)
給料	市長	980,000	984,078
	副市長	800,000	810,026
報酬	議長	560,000	614,444
	副議長	510,000	552,667
	議員	470,000	507,667

⑥期末・勤勉手当の支給割合

民間企業の賞与にあたる期末・勤勉手当は、給料と扶養手当の合計を基礎にして定められています。

(令和7年4月1日現在)

区分	苫小牧市職員		国家公務員	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
6月	1.475月分	0.825月分	1.25月分	1.05月分
12月	1.475月分	0.825月分	1.25月分	1.05月分
計	2.95月分	1.65月分	2.5月分	2.1月分

※職務の級などに応じた加算措置がある

⑦退職手当の支給状況

退職手当の支給割合は、勤続年数や退職理由により下表[表1] のとおり定められています。令和6年度の退職者数と平均支給額は下表[表2] のとおりです。

[表1] (令和7年4月1日現在)

勤続年数	苫小牧市職員		国家公務員	
	自己都合	勸奨・定年	自己都合	勸奨・定年
20年	19.6695月分	24.586875月分	19.6695月分	24.586875月分
30年	34.7355月分	40.80375月分	34.7355月分	40.80375月分
35年	39.7575月分	47.709月分	39.7575月分	47.709月分
最高限度	47.709月分	47.709月分	47.709月分	47.709月分

[表2] (令和6年度決算)

退職理由	人数(人)	平均支給額(千円)
自己都合	67	4,036
勸奨・定年	24	19,540

※人数は退職手当の該当者数

⑧主な諸手当の支給状況

主な諸手当については次のとおりです。

(令和7年4月1日現在)

区分	支給基準	月額(円)	
		苫小牧市職員	国家公務員
扶養手当	配偶者	3,000	3,000※1
	子	11,500	11,500
	16歳から22歳までの子の加算	5,000	5,000
	父母など	6,500	6,500※2
住居手当	借家など支給対象家賃額(市) 9,001円以上	1,000	100
	(国) 16,001円以上	28,000	28,000
	持家	0	0
通勤手当	自家用車などの利用者	距離(片道)	2.0km以上 2.0km以上
		金額	2,000 2,000
			31,600 31,600
		交通機関利用者限度額	150,000 150,000

※1 行政職俸給表8級以上職員は支給無し

※2 行政職俸給表8級職員は3,500円、9級以上職員は支給無し

(令和6年度一般会計決算)

区分			全職種
特殊勤務手当	職員全体に占める手当支給職員の割合		35.2%
	支給対象職員1人当たりの平均支給年額		32千円
	手当の種類(手当数)		13種類
	代表的な手当の名称	支給額の多い手当	出動待機手当
			出動手当
		支給対象職員の多い手当	深夜特殊業務手当
			出動手当
勤務手当	令和5年度	支給総額	353,072千円
		職員1人当たり支給年額	376千円
	令和6年度	支給総額	360,916千円
		職員1人当たり支給年額	388千円

※出動待機手当＝隔日勤務を命じられた消防職員への手当

出動手当＝消火作業または救急業務に従事した消防職員への手当

深夜特殊業務手当＝深夜勤務に従事した消防職員への手当